

日本語(国語) 【小5】 指導カリキュラム

日本語テキスト



ユニット・指導内容・指導単元一覧表

- 1ユニットの指導モジュール配分は、日本語力のステップに応じて比率を決める。
現在の日本語カレベルと現在の学年の学習内容、1ユニット・モジュール配分比率は、概ね下記のようにする。

	ステップに応じた指導内容	:	現在の学年学習内容
【S1】	8	:	2
【S2】	7	:	3
【S3】	5	:	5
【S4】	2	:	8

『指導ユニット・モジュール数配分例』

31	:	8	(モジュール数39モジュールの場合)
19	:	8	(モジュール数27モジュールの場合)
9	:	9	(モジュール数18モジュールの場合)
2	:	7	(モジュール数 9モジュールの場合)

日本語(国語)【小5】4月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 4月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **【S1】 31：8** **【S2】 19：8** **【S3】 9：9** **【S4】 2：7**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
教えて、あなたのこと (話・聞①) インタビュー 人物紹介	◎楽しみながら、インタビューをしたり人物紹介をしたりする。 【S1】 教材文を読む。 【S2】 質問の内容を考えて、インタビューをする。 【S3/S4】 教材文の例を参考に、紹介するための文を考える。
ふるさと あめ玉 五年生の学習に生かそう(読③) 音読	◎場面の様子や登場人物の気持ちを想像し、音読する。 【S1】 場面の様子を想像して文語調の表現を楽しみながら詩を読む。 【S2】 場面の様子を捉えながら、「あめ玉」を音読する。 【S3/S4】 「五年生の学習に生かそう」を読み、気をつけることを確かめる。
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>「五年生の学習に生かそう」 音読をするとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しせいを整える。 ・語の初めは、はっきり読む。 ・聞きやすい速さや、声の大きさを考える。 ・大事な言葉や文を強めて読む。 <p>読むとき 『物語』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつの話か (時代・季節・時間) ・どこの話か (場所) ・だれが出てくるか (登場人物) <p>言葉について調べるとき 『国語辞典』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉の意味 ・言葉の使い方 ・漢字での書き表し方 など </div> <div style="width: 45%;"> <p>みんなの前で話すとき</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞いている人の顔を見て話す。 ・ていねいな言い方を使う。 <p>『説明している文章』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話題 ・筆者の考えの中心 ・説明のしかたの工夫 <p>『漢字辞典』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や訓の読み方 ・成り立ちや意味 ・使い方 ・部首や画数 など </div> </div>	
なまえつけてよ (読④) 登場人物の心情	◎登場人物の相互[そうご]関係や心情などの描写[びょうしゃ]。 【S1】 教材文を読む。 【S2】 登場人物の行動に着目し、それぞれの人物の心情の変化や関係の変化が分かるところを見つける。

・春花 ・子馬 ・牧場のおばさん ・勇太 ・弟の陸 ・おばあさん ・ねこ(ぼんすけ)
 【S3/S4】 会話や行動を表す語句・文から、登場人物の心情について考える。

【語彙・表現】

牧場のわきを通りかかったとき 見なれない子馬 つやつやした毛なみ ぱちりとまばたきした すいこまれそうな気 手を止めて 顔見知り 歩きなれた通学路=(けれど)=まるで知らない道を歩いているような気 任される きっかけ
 勇太は目を合わせない。ただ、足元を見ている 目をかがやかせた ちらっと見た。でも、すぐに目をそらした。 ぶいっと向きを変えて 言葉をぐっと飲みこんだ 大人っぽくなってきた 木と木のすき間 ふわあ、とあくびをした しっぽをゆらりとふって くりくりとした丸い目 安心してねむりに落ちた 風がさあっとふきぬけた ぴくぴくと耳を動かした 不格好 らんぼうなぐらいに元気のいい字が、おどっている

【新出漢字】

情 ジョウ 心情 表情 なさけ 情け深い
 現 ゲン 表現 現実 あらわれる 月が現れる あらわす すがたを現す
 任 ニン 責任 任命 まかせる 人に任せる まかす 仕事を任す
 際 サイ 実際 国際 (きわ)
 態 タイ 態度 事態

飼 シ 飼育 飼料 かう ねこを飼う
 似 にる 似合う
 格 カク 不格好 性格 (コウ)
 像 ゾウ 想像 人物像
 接 セツ 直接 接続 (つぐ)
 解 カイ 理解 解説 (ゲ)
 とく 問題を解く とかす 雪を解かす
 とける 問題が解ける

4年生までの漢字

◎4年生までに配当されている漢字

最新 季節 案内図 二十一世紀 分類 百科事典 便利 歴史 戦争 配置 要望 伝記 参考書 借りる 司書 英語 辞書
 五さつ以内 児童書 順番 席 静か

春の空 (書②)
 俳句 語感や言葉の使い方

● 語感や言葉の使い方。 春らしいものや様子
 【S1】 春のどんなところが好きかについて発表する。
 【S2/S3/S4】 「枕草子」を音読したり暗唱したりして、表現された季節感を味わう。

春はあけぼの。やうやう白くなりゆく山ぎは、すこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

花冷え さくらのさくころ、急にきびしい寒さがもどり、冷えこむこと。
 寒のもどり 春がすみ 花ぐもり

春風 春にふく、あたたかく、のどかな風のこと。
 風光る うららか のどか

春雨 春に、しっとり静かにふる雨のこと。
 春時雨 春の長雨 菜種梅雨

かなづかい「ゆう」と「いう」「じ」「ず」と「ぢ」「づ」

日本語(国語)【小5】5月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 5月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **【S1】 31：8** **【S2】 19：8** **【S3】 9：9** **【S4】 2：7**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容																																																																																																																								
新聞を読もう (読③) 要旨 見出しやリード文	◎新聞記事ー見出しやリード文から 要旨[ようし] をとらえる。 【S1】 教材文を読み、新聞の一面の構成を確認する。 【S2】 新聞が、どのような作りになっているか確かめながら読む。 【S3】 新聞のそれぞれの面にどのような分野の記事が書かれているか調べる。 【S4】 二つの記事を比べ、見出しや写真の違いが読者に与える印象を考える。 ☆情報を収集し、取捨選択し、関連づける。(社会)																																																																																																																								
<hr/> <p>【語彙・表現】 新聞の編集 記事 社会で起きていること (動きや出来事) コラム 社説 解説 新聞名 発行日 発行者 目次 見出し リード文 本文 面 写真・図表 全国紙 地方紙 着目</p> <p>【新出漢字】</p> <table border="0"> <tr> <td>編</td><td>ヘン</td><td>編集</td><td>短編集</td><td>あむ</td><td>糸で編む</td><td>逆</td><td>ギャク</td><td>逆三角形</td><td>逆転</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>興</td><td>コウ</td><td>復興</td><td>興奮</td><td>キョウ</td><td>興味 (おこる) (おこす)</td><td></td><td>さか</td><td>逆立ち</td><td>さからう</td><td>流れに逆らう</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>報</td><td>ホウ</td><td>報道</td><td>情報</td><td>(むくいる)</td><td></td><td>構</td><td>コウ</td><td>構成</td><td>構想</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>容</td><td>ヨウ</td><td>内容</td><td>容器</td><td></td><td></td><td></td><td>かまえる</td><td>店を構える</td><td>かまう</td><td>身なりを構う</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>経</td><td>ケイ</td><td>経済</td><td>経験</td><td>(キョウ)</td><td>へる 月日を経る</td><td>刊</td><td>カン</td><td>夕刊</td><td>新刊</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>比</td><td>ヒ</td><td>対比</td><td>比例</td><td>くらべる</td><td>記事を比べる</td><td>効</td><td>コウ</td><td>効果的</td><td>有勁</td><td>きく</td><td>薬が効く</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		編	ヘン	編集	短編集	あむ	糸で編む	逆	ギャク	逆三角形	逆転											興	コウ	復興	興奮	キョウ	興味 (おこる) (おこす)		さか	逆立ち	さからう	流れに逆らう										報	ホウ	報道	情報	(むくいる)		構	コウ	構成	構想											容	ヨウ	内容	容器				かまえる	店を構える	かまう	身なりを構う										経	ケイ	経済	経験	(キョウ)	へる 月日を経る	刊	カン	夕刊	新刊											比	ヒ	対比	比例	くらべる	記事を比べる	効	コウ	効果的	有勁	きく	薬が効く								
編	ヘン	編集	短編集	あむ	糸で編む	逆	ギャク	逆三角形	逆転																																																																																																																
興	コウ	復興	興奮	キョウ	興味 (おこる) (おこす)		さか	逆立ち	さからう	流れに逆らう																																																																																																															
報	ホウ	報道	情報	(むくいる)		構	コウ	構成	構想																																																																																																																
容	ヨウ	内容	容器				かまえる	店を構える	かまう	身なりを構う																																																																																																															
経	ケイ	経済	経験	(キョウ)	へる 月日を経る	刊	カン	夕刊	新刊																																																																																																																
比	ヒ	対比	比例	くらべる	記事を比べる	効	コウ	効果的	有勁	きく	薬が効く																																																																																																														
漢字の成り立ち (伝国②) 漢字の成り立ち (象形文字) (指事文字) (会意文字) (形声文字)	★ 漢字の成り立ち(4種類) 【S1/S2】 既習漢字の中から会意文字を探し、成り立ちについて考える。 【S3/S4】 教科書の問題を解き、形声文字について(漢字辞典)確かめる。																																																																																																																								
<hr/> <p>(1)象形文字 目に見える物の形を、具体的にえがいたもの。〈例〉馬・山・門・火・手 (2)指事文字 目に見えない事から、印や記号を使って表したもの。〈例〉上・下・三 (3)会意文字 漢字の意味を組み合わせたもの。〈例〉鳴・信・林 (4)形声文字 音を表す部分と意味を表す部分を組み合わせたもの。</p>																																																																																																																									
<p>【新出漢字】</p> <table border="0"> <tr> <td>許</td><td>キョ</td><td>許可</td><td>特許</td><td>ゆるす</td><td>失敗を許す</td><td>判</td><td>ハン</td><td>判断</td><td>判定</td><td>バン</td><td>大判</td><td>小判</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>可</td><td>カ</td><td>許可</td><td>可決</td><td></td><td></td><td>移</td><td>イ</td><td>移動</td><td>移住</td><td>うつる</td><td>席を移る</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>河</td><td>カ</td><td>河口</td><td>銀河</td><td>かわ</td><td>大きな河</td><td></td><td></td><td>うつす</td><td>行動に移す</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>銅</td><td>ドウ</td><td>銅像</td><td>銅線</td><td></td><td></td><td>預</td><td>ヨ</td><td>預金</td><td>あずける</td><td>お金を預ける</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>修</td><td>シュウ</td><td>修復</td><td>修理</td><td>(シュ)</td><td></td><td></td><td></td><td>あずかる</td><td>荷物を預かる</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		許	キョ	許可	特許	ゆるす	失敗を許す	判	ハン	判断	判定	バン	大判	小判								可	カ	許可	可決			移	イ	移動	移住	うつる	席を移る									河	カ	河口	銀河	かわ	大きな河			うつす	行動に移す											銅	ドウ	銅像	銅線			預	ヨ	預金	あずける	お金を預ける										修	シュウ	修復	修理	(シュ)				あずかる	荷物を預かる																														
許	キョ	許可	特許	ゆるす	失敗を許す	判	ハン	判断	判定	バン	大判	小判																																																																																																													
可	カ	許可	可決			移	イ	移動	移住	うつる	席を移る																																																																																																														
河	カ	河口	銀河	かわ	大きな河			うつす	行動に移す																																																																																																																
銅	ドウ	銅像	銅線			預	ヨ	預金	あずける	お金を預ける																																																																																																															
修	シュウ	修復	修理	(シュ)				あずかる	荷物を預かる																																																																																																																

おさめる 学問を修める おさまる 身が修まる
 復 フク 修復 回復
 絶 ゼツ 絶景 絶対 たえる 消息が絶える
 たやす 火を絶やす たつ 関係を絶つ

貿 ボウ 貿易
 易 エキ 貿易 イ 容易 安易
 やさしい 易しい問題
 潔 ケツ 清潔 潔白 (いさぎよい)

見立てる
 生き物は円柱形 (読⑦)
 要旨

◎要旨を捉える。 ・例の挙げ方や文末表現の役割
 【S1】教材文を読む。
 【S2】文章を「初め」「中 (前半)」「中 (後半)」「終わり」に分ける。
 【S3】段落相互の関係に注意しながら、「書いてあること」「大事な語や文」を整理する。
 【S4】筆者の考えや考えの進め方をつかむ。
 ☆人や他の動物の体に目を向けさせる題材 (理科)

【語彙・表現】

見立てる(別のものとして見る) 知らず知らずのうちに 想像力 わたしたちを育ててくれた自然や生活
 生き物の、最も生き物らしいところは、多様だ 共通性 ごつごつ でこぼこ 円柱形 あおぐ(せんすを) 仮に くたつ
 と曲がって しなっていたれ下がる 形を保つ 独自の多様な生き方 おそれ、うやまう気持ちすらいだかずにはいられない

【新出漢字】

在 ザイ 実在 現在 ある 会議の在り方
 支 シ 支局 支店 ささえる 社会を支える
 性 セイ 共通性 性格
 幹 カン 新幹線 幹事 みき 木の幹
 枝 (シ) えだ 木の枝 小枝
 仮 カ 仮説 仮定 (ケ) かり 仮のすがた

基 キ 基本 基点 (もと) (もとい)
 程 テイ 程度 日程 (ほど)
 保 ホ 保管 保育園 たもつ 形を保つ
 独 ドク 独自 独立 ひとり 独りじめ
 豊 ホウ 豊富 豊作 ゆたか 豊かな社会
 述 ジュツ 述語 記述 のべる 考えを述べる

漢字の広場② (書①)
 4年生までの漢字

◎4年生までに配当されている漢字

氏名 郡 卒業 働く 初めて 参加 自然 熱中 続ける 目標 費用 貯金 悪天候 失敗 残念 反省 特訓 必死 仲間 努力
 士気 副隊長 不安 冷たい 協力 苦勞 信念 良好 希望 勇気 悲願 旗 成功 無事 喜ぶ 祝福

古典の世界 (一) (伝国②)
 古文の音読

◎「竹取物語」「枕草子[まくらのそうし]」「平家物語」の始まりの部分を音読
 【S1/S2】「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「おくのほそ道」の言葉のひびきやリズムを味わったり、様子を想像したりしながら、声に出して読む。
 【S3/S4】古文を読んで、昔の人々の心にふれる。

竹取物語

今は昔、竹取の翁といふものありけり。
 野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。
 その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。
 あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。
 それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてあたり。

日本語(国語)【小5】6月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 6月 ユニット・指導内容・ステップ	
【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 【S1】 42：10 【S2】 25：11 【S3】 12：12 【S4】 3：13	
ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
きいて、きいて、きいてみよう (話・聞⑥) 話し手の意図を聞く	◎話し手の意図をとらえながら聞き、自分の意見と比べる。 ■インタビュー 「休みの日の過ごし方」 ☆インタビューによる取材 (社会・総合的な学習の時間)
【語彙・表現】 役割 話題を挙げる 話題をしぼる	
【新出漢字】 質 シツ 質問 品質 属 ソク 所属 金属 準 ジュン 準備 準決勝 夢 ム 夢中 悪夢 ゆめ 夢を見る 備 ビ 準備 予備 識 シキ 意識 知識 そなえる 台風に備える そなわる 品位が備わる 応 オウ 意図に応じる こたえる 期待に応える 確 カク 正確 確実 たしか 確かな事実 たしかめる 道を確認める	
敬語[けいご] (伝国②) けい語	★ 敬語[けいご]の使い方 ▲ 丁寧語[ていねいご] 尊敬語[そんけいご] 謙譲語[けんじょうご] 【S1】 自分の日常の言葉遣いについて考える。 【S2】 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」を知る。 【S3/S4】 日常生活の中で、敬語を使うべき場面、使うべき言葉や表現を確認める。
【語彙・表現】 敬意を表す 必要に応じて あまり親しくない人 うやまう気持ち 身内の者 けんそん	
<ていねい語> あまり親しくない人や大勢の人に対して話したり書いたりするとき。「です」「ます」や、「ございます」。 <尊敬語> 相手や話題になっている人をうやまう気持ちを表す。 (1)特別な言葉を使った言い方。 ・いらっしゃる (いる・来る・行く) ・おっしゃる (言う) ・くださる (くれる) など。 (2)「お(ご)ーになる」という言い方。 ・校長先生がお話しになります。 (3)「一れる(られる)」という言い方。 ・先生は、もう帰られました。 (4)物事を表す言葉に「お」や「ご」を付けた言い方。 ・ご卒業おめでとうございます。	
<けんじょう語> 自分や身内の者の動作をけんそんして言うことで、その動作を受ける人への敬意を表す。 (1)特別な言葉を使った言い方。 ・うかがう (行く・たずねる・聞く) ・いただく (食べる・もらう) など。	

(2)「お(ご)する」という言い方。 ・お客様を、お見送りしましょう。

【練習】

- ・先生は、今、職員室にいる。
- ・校長先生にききたいことがあります。
- ・となりの山田さんに、おかしをもらった。

【新出漢字】

勢 セイ 大勢 勢力 いきおい 勢がいい 職 ショク 職員室 職業

広がる、つながる、わたしたちの読書の読書
千年の釘にいとむ
[コラム] 著作権について知ろう (読⑤)

◎本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりする。

【S1】「千年の釘にいとむ」を読む。

【S2】 これまでに読んだ本や図書館で探した本から、薦めたい1冊を決める。

【S3】 どの方法でどのように伝えるか考える。(ポスター、ポップ、帯)

☆ものづくりや働くことの価値や意味を理解する精神を養う題材 (道徳・総合的な学習の時間)

【語彙・表現】

読書の新たなみりよく 本を手にとってもらう ポスター ポップ (広告カード) 本の帯 ブックトーク

きわめてむずかしいにちがいない それを成しとげた びくともしない 大がかりな 修行 古代の釘の見事さ 鉄の純度が低い たたら 元も子もない

【新出漢字】

設 セツ 特設 設定 もうける 会場を設ける
 造 ゾウ 木造建築 つくる 船を造る
 築 チク 木造建築 きづく 関係を築く
 再 サイ 再建 再会 サ 再来週
 ふたたび 再びたずねる
 講 コウ 大講堂 講義
 混 コン 混合物 混戦
 まじる 雑音が混じる まざる 味が混ざる
 まぜる 材料を混ぜる こむ 電車が混む

総 ソウ 総動員 総合
 製 セイ 製鉄所 製品
 燃 ネン 燃料 燃費
 もえる 紙が燃える もやす 火を燃やす
 もす まきを燃す
 圧 アツ 圧縮 圧力
 素 ソ 炭素 素材 (ス)
 統 トウ 伝統文化 (すべる)
 断 ダン 無断 断面 (たつ) ことわる 参加を断る

日本語(国語)【小5】7月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 7月 ユニット・指導内容・ステップ	
【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 【S1】 21：5 【S2】 13：5 【S3】 6：6 【S4】 2：6	
ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
漢字の広場③ (書①) 4年生までの漢字	◎4年生までに配当されている漢字 ■絵を説明する文章
都道府県 日本各地 漁業 産業 億 兆 単位 半径 面積 例題 底辺 給食 栄養満点 健康 焼き魚 試験管 変化 個体 加熱 観察 葉脈 方法 芽 種 号令 一周 合唱 楽器 覚える	
夏の夜 (書②) 古文 夏を表す言葉	◎古文のおおまかな内容を知り、語感や言葉の使い方に関心をもつ。 【S1/S2】夏のどんなどころが好きかについて発表する。 【S3/S4】「枕草子」を音読し、「夏」に対する見方や感じ方、表現された季節感を味わう。 ●暑中見舞い[みまい]を書く。
夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。	
雲の峰	夏の雲が、高くそびえ立つさまを、山の峰にたとえている。
梅雨	夏雲 入道雲 夕立 六月ころ降り続く長雨や、その時期のこと。 入梅 梅雨明け 五月雨
炎天	きらきらと焼けつくような真夏の空のこと。 真夏日 西日 油照り 草いきれ
活動報告書 (書⑩) 事柄の整理	◎目的や意図に応じて収集[しゅうしゅう]した事柄[ことがら]を整理する。 【S1】「活動報告書の構成」を確認し、それぞれの部分について、作例ではどう書かれているか確かめる。 【S2】報告書の構成にあわせて、報告に必要なことを考える。 【S3】作例から、工夫しているところや、自分もこのように書きたいと思うところを見つける。 【S4】小見出しの付け方、説明のしかた、事実と考えの書き方について読む。
【新出漢字】 因 イン 原因 要因 (よる) 限 ゲン 期限 限定 かぎる 時間を限る	迷 (メイ) まよう 道に迷う 査 サ 調査 検査 護 ゴ 養護 保護
漢字の部首 かんむり かまえにようたれあし	

日本語(国語)【小5】9月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 9月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **【S1】 31：8** **【S2】 19：8** **【S3】 9：9** **【S4】 2：7**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容														
からたちの花 (読①) 音読 比喩や反復などの表現	◎自分の思いや考えが伝わるように音読する。 ○比喩[ひゆ]や反復などの表現 【S1】 詩を音読する。 【S2】 五音・七音のリズムを味わったり、言葉の繰り返しを楽しんだりする。 【S3】 どう読むのがよいか、それはなぜかを考える。 【S4】 同じ言葉の繰り返しから受ける印象や感想を発表する。														
からたちの花 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td style="width:33%;">からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。</td> <td style="width:33%;">からたちは畑の垣根よ。 いつもいつもとおる道だよ。</td> <td style="width:33%;">からたちのそばで泣いたよ。 みんなみんなやさしかったよ。</td> </tr> <tr> <td>からたちのとげはいたいよ。 青い青い針のとげだよ。</td> <td>からたちも秋はみのるよ。 まろいまろい金のたまだよ。</td> <td>からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。</td> </tr> </table>		からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。	からたちは畑の垣根よ。 いつもいつもとおる道だよ。	からたちのそばで泣いたよ。 みんなみんなやさしかったよ。	からたちのとげはいたいよ。 青い青い針のとげだよ。	からたちも秋はみのるよ。 まろいまろい金のたまだよ。	からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。								
からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。	からたちは畑の垣根よ。 いつもいつもとおる道だよ。	からたちのそばで泣いたよ。 みんなみんなやさしかったよ。													
からたちのとげはいたいよ。 青い青い針のとげだよ。	からたちも秋はみのるよ。 まろいまろい金のたまだよ。	からたちの花が咲いたよ。 白い白い花が咲いたよ。													
カンジー博士の暗号解読 (伝国②) 同じ音の漢字	◎5年生までに学習した 同じ音の漢字 【S1】 教科書を読む。 【S2/S3】 暗号の解読のしかたを確かめ、解読する。 【S2】 漢字辞典や国語辞典を使い、漢字を確かめる。														
【新出漢字】 <table style="width:100%; border:none;"> <tr> <td>授 ジュ 教授 授業 (さずける) (さずかる)</td> <td>液 エキ 血液 液体</td> </tr> <tr> <td>厚 (コウ) あつい 分厚い</td> <td>規 キ 規則 定規</td> </tr> <tr> <td>徳 トク 道德 徳用</td> <td>則 ソク 規則 反則</td> </tr> <tr> <td>旧 キュウ 旧道 新旧</td> <td>承 ショウ 伝承 承知 (うけたまわる)</td> </tr> <tr> <td>居 キョ 転居 住居 いる 居ながらにして分かる</td> <td>織 シキ 組織 おる 布を織る</td> </tr> <tr> <td>額 ガク 高額 全額 ひたい ねこの額</td> <td>責 セキ 責任 重責 せめる 失敗を責める</td> </tr> <tr> <td>眼 ガン 眼科 (ゲン) (まなこ)</td> <td>故 コ 事故 故人 (ゆえ)</td> </tr> </table>		授 ジュ 教授 授業 (さずける) (さずかる)	液 エキ 血液 液体	厚 (コウ) あつい 分厚い	規 キ 規則 定規	徳 トク 道德 徳用	則 ソク 規則 反則	旧 キュウ 旧道 新旧	承 ショウ 伝承 承知 (うけたまわる)	居 キョ 転居 住居 いる 居ながらにして分かる	織 シキ 組織 おる 布を織る	額 ガク 高額 全額 ひたい ねこの額	責 セキ 責任 重責 せめる 失敗を責める	眼 ガン 眼科 (ゲン) (まなこ)	故 コ 事故 故人 (ゆえ)
授 ジュ 教授 授業 (さずける) (さずかる)	液 エキ 血液 液体														
厚 (コウ) あつい 分厚い	規 キ 規則 定規														
徳 トク 道德 徳用	則 ソク 規則 反則														
旧 キュウ 旧道 新旧	承 ショウ 伝承 承知 (うけたまわる)														
居 キョ 転居 住居 いる 居ながらにして分かる	織 シキ 組織 おる 布を織る														
額 ガク 高額 全額 ひたい ねこの額	責 セキ 責任 重責 せめる 失敗を責める														
眼 ガン 眼科 (ゲン) (まなこ)	故 コ 事故 故人 (ゆえ)														
日常を十七音で (書③) 俳句	◎表現を工夫[くふう]して俳句[はいく]を作る。 ◎言葉の選び方や表現のしかた 【S1/S2】 三つの俳句を読み、気に入った俳句を決め、理由を発表する。 【S2】 生活の中で気づいたことや驚いたことを思い出し、材料を集める。 【S3】 短い文章や季語を組み合わせて、五・七・五のリズムで俳句を作る。														

【語彙・表現】 季語の例

〈春〉あたたか かえる 桜 入学 ひばり
〈夏〉泳ぎ かぶと虫 トマト 夕立 あせ
〈秋〉コスモス きんま こおろぎ 台風 冬じたく
〈冬〉さざんか 雪 大根 手ぶくろ 北風

【新出漢字】

句 ク 俳句 句点 桜 (オウ) さくら 桜がさく
常 ジョウ 日常 非常 つね 常日ごろ 序 ジョ 順序 序文

和語・漢語・外来語 (伝国②)
和語・漢語・外来語

★ 和語、漢語、外来語の由来、語感や言葉の使い方
【S1】 (1)と(2)の文章表現の「感じの違い」を発表する。
【S2/S3】 漢語と和語の違いを知る。
【S4】 設問を考える。

- (1)夏休みをふるさとで過ごす人が多く、高速道路や新幹線はかなり混み合うものと思われます。
- (2)夏休みの帰省ラッシュで、高速道路や新幹線は相当な混雑が予想されます。

和語—もともと日本にあった言葉。「人」のように漢字で書いてあっても、「訓」で読む言葉は和語。

漢語—漢字を「音」で読む言葉。漢語は、古くに中国から日本に入った言葉。
「科学」のように、日本で漢字を組み合わせて作った音読みの言葉もある。
漢語は、ふつう漢字で書き表しますが、「にく (肉)」のように、平仮名で書いてあっても、「音」で読む言葉は漢語です。

外来語—外来語の多くは、近代になり、日本とアメリカやヨーロッパの国々との交わりの中で日本語の中に取り入れられた外国の言葉。
外来語は、ふつう片仮名で書き表す。外来語には、組み合わせたり、省略したりして、日本で作られたものもある。

- ① 次の文中の一線の言葉は、漢語と和語で意味がちがいます。
 - 風車小屋の近くは立ち入り禁止になった。
 - 妹に風車を貸す。
 - 水辺の生物についての本を出版する。
 - 生物ですから早くめしあがってください。

【新出漢字】

過 カ 経過 通過 すぎる 夏が過ぎる 能 ノウ 可能 能力
すごす 楽しく過ごす (あやまち) 版 ハン 出版 版画
雑 ザツ 混雑 雑音 ゾウ 雑木林 禁 キン 禁止 禁物
略 リヤク 省略 戦略 貸 かす 風車を貸す

漢字の筆順・画数

日本語(国語)【小5】10月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 10月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **【S1】 42：10** **【S2】 25：11** **【S3】 12：12** **【S4】 3：13**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容																		
<p>明日をつくるわたしたち [コラム]意見が対立したとき には(書⑧、話・聞⑥) 知識や情報の関連づけ</p>	<p>◎話題を決めて収集[しゅうしゅう]した知識や情報を関連づける。 【S1】 「明日をつくるわたしたち」を読む。 【S2】 じぶんたちにできることやしたいことを考える。 【S3】 提案する内容とその理由、現状と問題点、解決する方法などを書き出す。 【S4】 提案書を書く。</p>																		

<p>【語彙・表現】 考えを明確にする よりよいくらし 提案書 現状と問題点 具体的 ちいき 引用 ウェブサイト 引用 もち寄 る グループ協議 読み返す 説得力が増す 改善できる表現 『意見が対立したときには』</p> <p>① 相手に理由をたずねる言葉 「どうしてそう思うの。」 ② 自分の考えの理由を伝える言葉 「なぜかというと、一だからだよ。」 ③ 「理解した」ということを伝える言葉 「確かに、その考え方も分かる。」 ④ 話に区切りをつけ、次へ進める言葉 「それなら、こうしたらどうかな。」</p> <p>【新出漢字】</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 40%;">提 テイ 提案 提示</td> <td style="width: 10%;">資 シ 資料 資格</td> <td style="width: 50%;"></td> </tr> <tr> <td>状 ジョウ 現状 状態</td> <td>増 ゾウ 増加 増水</td> <td></td> </tr> <tr> <td>寄 キ 寄宿 寄付 よる 持ち寄る</td> <td>ます 水かさが増す ふえる ごみが増える</td> <td></td> </tr> <tr> <td>よせる 引き 寄せる</td> <td>ふやす 機会を増やす</td> <td></td> </tr> <tr> <td>賛 サン 賛成 賛同</td> <td>防 ボウ 防災 防止 ふせぐ 火事を防ぐ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>複 フク 複数 複合語</td> <td>災 サイ 防災 災害 (わざわい)</td> <td></td> </tr> </table>		提 テイ 提案 提示	資 シ 資料 資格		状 ジョウ 現状 状態	増 ゾウ 増加 増水		寄 キ 寄宿 寄付 よる 持ち寄る	ます 水かさが増す ふえる ごみが増える		よせる 引き 寄せる	ふやす 機会を増やす		賛 サン 賛成 賛同	防 ボウ 防災 防止 ふせぐ 火事を防ぐ		複 フク 複数 複合語	災 サイ 防災 災害 (わざわい)	
提 テイ 提案 提示	資 シ 資料 資格																		
状 ジョウ 現状 状態	増 ゾウ 増加 増水																		
寄 キ 寄宿 寄付 よる 持ち寄る	ます 水かさが増す ふえる ごみが増える																		
よせる 引き 寄せる	ふやす 機会を増やす																		
賛 サン 賛成 賛同	防 ボウ 防災 防止 ふせぐ 火事を防ぐ																		
複 フク 複数 複合語	災 サイ 防災 災害 (わざわい)																		

<p>漢字の読み方と使い方 (伝国②) 特別な読み方をする漢字</p>	<p>★ 複数の読み方のある漢字と特別な読み方をする言葉 【S1】 例文を読み、漢字は言葉によって読み方が変わる場合があることを知る。 【S2】 空欄に当てはまる漢字を考え、四つの熟語作りをする。 【S3/S4】 二つ以上の漢字が結び付き特別な読み方をする言葉があることを知る。</p>																		

<p>一つの漢字にいろいろな音</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間にとって、時間^{トキ}は大切な財産である。 ・祖母が学んだ読本^{トクポン}を借り、音読^{オンドク}してみた。 ・直接^{ダイゲツ}会って、正直^{テイジツ}に話し、謝罪^{シャサイ}する。 	<p>特別な読み方をする言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二人^{フタリ}の友情は永久^{トウジュウ}に変わらない。 ・岩^{イワ}のすき間に清水^{しみず}がわいている。 ・川原^{カハ}(河原)で昼食^{チウシキ}を食べた。 																		

- ・兄はドイツに留学中で、しばらく留守だ。
- ・昨日、映画の前売り券を買いに行った。
- ・祖父の退院の準備を手伝う。
- ・この八百屋は元日から営業している。

【新出漢字】

財	ザイ	財産	文化財	久	キュウ	永久	持久走	(ク)	ひさしい	久しぶり
祖	ソ	祖母	祖先	券	ケン	前売り券	食券			
謝	シャ	謝罪	謝礼	(あやまる)	管	エイ	営業	運営	いとなむ	生活を営む
罪	ザイ	謝罪	無罪	つみ	妻	サイ	夫妻	妻子	つま	妻と夫
留	リュウ	留学	停留所	ル	婦	フ	婦人服			
	とめる	ボタンを留める	とまる	目に留まる	退	タイ	退院	後退	しりぞく	後方に退く
永	エイ	永久	永遠	ながい	しりぞける		要求を退ける			

大造じいさんとガン (読⑦)
音読や朗読

◎心情や場面の様子が伝わるように音読する。

- 【S1】 心情や場面の様子を味わいながら読む。
- 【S2】 登場人物の関わりによって変化する心情を読み取る。
- 【S3】 「大造じいさん」の「残雪」に対する見方が変わった場面を探す。
- 【S4】 印象に残った心情表現や動きを表す表現を発表する。

【語彙・表現】

知り合い かりゅうど イノシシがり こしひとつ曲がっていない 血管のふくれたがんじょうな手 いろり たき火 か
 ぎしながら 愉快的 ガンがり その折りの話を土台として 丸太 しょうじ 自在かぎ すがすがしい木のおいのするけ
 むりの立ちこめている ろばた 群れ ぬま地 真っ白な交じり毛 頭領らしい 油断なく りょうじゅう いまいましく
 えをあさる辺り一面 くい タニシ ウナギつりばり たたみ糸 つぶやきながら たかが鳥のことだ 一晩たてば
 いじょうなし 思わず感嘆の声をもらしてしまいました 今さらのように 見通しのきくところ 五俵 どんなあんばい 会心
 のえみ かなたの空に黒く点々と ほおがびりびりするほど引きしまる 急角度 どんぶり 計略 生けどった 夏の出水
 真一文字 グワア、グワア ハヤブサ 残雪に導かれて 目をくらまししながら おどりのガン 本能 むな元 もつれ合
 って よろめきながら くないにそめて らんまんときいたスモモの花 雪のように清らかに 晴れ晴れとした顔つき

【新出漢字】

快	カイ	愉快	快晴	こころよい	快い羽音	険	ケン	危険	保険	けわしい	道が険しい
群	グン	大群	群生地			張	チョウ	主張	出張	はる	糸を引っ張る
	むれる	魚が群れる	むれ	鳥の群れ		導	ドウ	指導	導火線	みちびく	群れを導く
	むら	ありが群がる				俵	ヒョウ	五俵	土俵	たわら	米俵
率	リツ	確率	倍率 (ソツ)			敵	テキ	強敵	天敵	(かたき)	
	ひきいる	群れを率いる				弁	ベン	花卉	弁当		
領	リョウ	頭領	領地								

日本語(国語)【小5】11月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 11月 ユニット・指導内容・ステップ	
【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 【S1】 42：10 【S2】 25：11 【S3】 12：12 【S4】 3：13	
ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
漢字の広場④ (書①) 4年生までの漢字	◎4年生までに配当されている漢字 ■絵を説明する文章
【語彙・表現】 取り付ける 巣箱 笑う 軍手 夫 散歩 衣料品 照明 鏡 浴室 広告 兵隊 孫 週末 ご飯 小麦粉 配達 材料 塩 梅 ぼし 分量 ケーキ型 園芸 観賞 首輪 愛犬 泣く 包帯 消毒 救急箱 胃腸薬	
秋の夕暮れ (書②) 古文「枕草子」 秋らしい言葉	●秋らしい言葉を見つける。 【S1】秋のどんなところが好きかについて発表する。 【S2/S3/S4】「枕草子」を音読し、表現された季節感を味わう。
【語彙・表現】 秋は夕暮れ。夕日のさして山の端いと近うなりたるに、鳥のねどころへ行くとて、三つ四つ、二つ三つなどい飛びいそぐさへあはれなり。まいて雁などのつらねたるが、いと小さく見ゆるはいとをかし。日入り果てて、風の音、虫の音など、はた言ふべきにあらず。 天高く馬肥ゆる秋 気分が晴れ晴れとする、秋の季節のすばらしさを表している。 秋晴れ さわやか秋風 秋の夜長 夜が長くなってくる秋には、空気がすみ、月がきれいに見えるようになる。 望月 十六夜 弓張月 星月夜	
天気を予想する (読⑥) 論の進め方、図表の活用	◎筆者が伝えたいこと、論[ろん]の進め方、図表などの活用 【S1】教材文を読み、初めて知ったことや、説明のしかたが工夫されていると思ったところを発表する。 【S2】文章の構成を整理する。 ・論の進め方や説明のしかたの工夫についてまとめる。 【S3】「言葉」を読み、どのように読むといいかを考える。 【S4】「問い」と「答え」の関連について考える。 筆者が表やグラフ、写真、図を使った意図とその効果について考える。 ☆図表・グラフと文章の関連 (社会・算数・理科) ☆天気の変化に目を向けさせる題材 (理科)

【語彙・表現】

的中する 翌日 科学技術の進歩 アメダスの観測装置 気象レーダー 雨雲の分布 海洋 気球 人工衛星 スーパーコンピュータ 予想図 大気の様子 国境 静止気象衛星 地球をおおっている雲 突発的な天気の変化 積乱雲 要因
に局地的な天気の変化が挙げられる 四方 手立て 天気の変化への対処

【新出漢字】

均 キン 平均 均等 境 キョウ 国境 境界線 (ケイ)
技 ギ 技術 競技 (わざ) さかい 生死の境
術 ジュツ 技術 手術 非 ヒ 非常 非売品
測 ソク 観測 測定 はかる 身長を測る 富 フ 豊富 (フウ) とむ 変化に富む
布 フ 分布 配布 めの 布を織る とみ 富を得る
衛 エイ 人工衛星 衛生 精 セイ 精度 精通 (ショウ)

グラフや表を用いて書こう
(書⑥)

◎図表やグラフの使い方

【S1/S2】「グラフや表を用いて書こう」を読む。

図表やグラフの使い方

【S3/S4】「社会は、くらしやすい方向に向かっている」を読み、意見を発表する。

【語彙・表現】

統計資料 (グラフや表) リユース リサイクル ごみ排出量 折れ線

資料をさがすとき

資料をさがすときは、どのような目的の資料をのせたいのかを考えることが大切である。

- ・ 数を示したい → グラフや表
- ・ 図解したい → 図
- ・ 実際の様子を見せたい → 写真

資料を、自分の考えのうらづけとするとき

- ・ 数字や書かれていることから、何か読み取れるのかを考える。
- ・ 読み取れたことから、どんなことが考えられるかを書き出す。
- ・ 資料から考えられることが自分の考えをうらづけるものになっているかどうかを判断する。

グラフや表を説明するとき

- ①何を表すグラフや表なのかを、まず述べる。「上のグラフは、一を示したものです。」など)
- ②グラフや表の中の情報が、何を示しているか説明する。
- ③注目する言葉や数字を示す。
- ④注目する言葉や数字から、考えられることを述べる。

【新出漢字】

示 ジ 表示 指示 (シ) しめす 数を示す 減 ゲン 加減 減少 へる ごみが減る
個 コ 個人 一個 へらす 水を減らす

日本語(国語)【小5】12月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 12月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **[S1] 31：8** **[S2] 19：8** **[S3] 9：9** **[S4] 2：7**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
同じ読み方の漢字 (伝国②) 音読み・訓読みが同じで意味のちがう漢字 文の組み立て 主語・述語 文の組み立て しゅうしやく語	<p>★ 同訓異字[どうくんにじ]、同音異義語[どうおんいぎご]</p> <p>語句と語句との関係</p> <p>[S1] 文章の中での語句と語句との関係を理解する。</p>
<p>【語彙・表現】</p>	
<p>(熱い 暑い 厚い) (辞書 お茶 夏)</p>	
<p>①さす(差す・指す)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時計のはりが十二時を <input type="text"/> ・武士がこしに刀を <input type="text"/> <p>②おう(負う・追う)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大な責任を <input type="text"/> ・にげた犯人を <input type="text"/> <p>③はかる(測る・計る・量る)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥料の入ったふくろの重方を <input type="text"/> ・校庭の木の高さを <input type="text"/> ・往復にかかる時間を <input type="text"/> 	<p>同じ読み方をする部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生のチームが先制点を取った。 ・酸性雨を防ごうという意見に賛成する。 ・先頭に立って銭湯に行く。 ・暴風に備えて防風林を作った。 ・あの人物の功績は、新しい鉱石を発見したことだ。 ・強い意志をもって、医師になった。 ・照明がついたままだったことを証明する。 ・製糸工場の技術が向上する。
<p>同じ訓の漢字</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一週間前に発売された週刊誌。 ・公園で、人形げきの公演を見た。 	<p>『文の組み立て』</p> <p>ぼくが 植えた 木が 育った。 → ぼくが木を植えた。その木が育った。</p>
<p>▼次の文の中の、主語と述語の関係を見つかりましょう。そして、二つの文で同じ内容を表してみましょう。</p> <p>・ねこが追いかけるねずみはとても小さい。・おじいさんが落としたおむすびを食べたねずみたちが歌を歌う。</p>	
<p>【新出漢字】</p> <p>適 テキ 適切 適度 武 ブ 武士 武道 ム 武者ぶるい 犯 ハン 犯人 犯罪 (おかす) 肥 ヒ 肥料 こえる 肥えた土 こえ 肥を入れる こやす 土地を肥やす こやし 肥やしをまく 往 オウ 往復 往路</p>	<p>銭 セン 銭湯 金銭 (ぜに) 暴 ボウ 暴風 暴力 (バク) (あばく) あばれる 馬が暴れる 績 セキ 功績 成績 鉱 コウ 鉱石 鉱山 志 シ 意志 志望 ころろぎす 音楽家を志す</p>

演 エン 公演 出演
 制 セイ 先制点 制度
 酸 サン 酸性雨 炭酸 (すい)

こころざし 志をつらぬく
 師 シ 医師 教師
 証 ショウ 証明 証言

百年後のふるさとを守る
 (読⑦)
 伝記

◎伝記を読む。
 【S1】教材文を読む。
 【S2】伝記のもつ特徴をまとめる。
 【S3/S4】「儀兵衛」がしたことと彼の考え方をまとめる。

【語彙・表現】

ただごとではない うなるような地鳴り 不気味 豊年を祝う宵祭りのしたく もう一刻も猶予はできない たいまつ まる
 で失神したように 紀州藩 記されている 家屋 余震 打ちひしがれた人々 援助 作付け 子孫 足を止めた 工
 事に着手した 活気にあふれ 番頭 再建のめどが立たず 事業 新たな気運 創業以来 自らの手で村を再興しようとして
 いる かたむきかけた家業 切なる願い 実を結んだ 偉大な功績 意義 意識をもつようにながした 自助と共助の意識
 被災地

【新出漢字】

余 ヨ 余震 余分 義 ギ 意義 正義
 あまる 予算が余る あます 夕飯を余す 政 セイ 政府 政治 (ショウ) (まつりごと)

古典の世界 (二) (伝国①)
 漢文の音読

◎漢文を音読し、漢文特有の言い回しやリズムを味わう。
 「論語」や漢詩「春暁」を声に出して読む。

子曰はく、「己の欲せざる所は、人に施すこと勿かれ。」と。
 子曰はく、「過ちて改めざる、是を過ちと謂ふ。」と。

春暁 孟浩然
 春眠 暁を覚えず
 处处 啼鳥を聞く
 夜来 風雨の声
 花落つること 知る多少

分かりやすく伝える
 (書②、伝国①)
 文章全体の構成の効果、表現
 の効果

◎文章全体の構成の効果、表現の効果などを考えて書く。
 ◎語感、言葉の使い方
 【S1】教材の例文を読む。
 【S2】相手に応じて言葉や表現を選ぶ。
 【S3】主語と述語を対応させる。
 【S4】一文の長さに気をつける。

【新出漢字】

採 サイ 採集 採決 とる 山菜採り 検 ケン 検証 検査
 貧 (ヒン) ビン 貧乏 まずしい 貧しい

日本語(国語)【小5】1月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 1月 ユニット・指導内容・ステップ	
【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 【S1】 31：8 【S2】 19：8 【S3】 9：9 【S4】 2：7	
ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
詩の楽しみ方を見つけよう (読②) 詩の音読	◎詩のよさを楽しむ。 お気に入りの詩を選び、自分なりに工夫して音読する。
雲 山村暮鳥 おうい雲よ ゆうゆうと 馬鹿にのんきさうちやないか どこまでゆくんだ ずっと磐城平の方までゆくんか ねぎぼうず みずかみかずよ 地底から打ちあげられたロケット	耳 ジャン=コクトー 堀口大学訳 私の耳は貝の殻 海の響きをなつかしむ 一ばんみじかい抒情詩 寺山修司 なみだは にんげんのつくることのできる 一ばん小さな 海です 静かな 焰 八木重吉 各つの 木に 各つの 影 木 は しずかな ほのお 土 三好達治 蟻が 蝶の羽をひいて行く ああ ヨットのやうだ
想像力のスイッチを入れよう (読⑥) 筆者の考え 自分の考え	◎事実と感想、意見との関係を押さえて、自分の考えを明確にして読む 【S1】 教材文を読む。 【S2/S3】 事例と筆者の考えがどのように結び付いているかを考える。 【S3】 筆者が「想像力のスイッチ」という表現をしたのはなぜかを考える。
【語彙・表現】 十位に入ったとしよう 思いこみ うら口	前は五位だったとする キャンセルせざるをえなかった タイムがちぢまっている スポットライト 発信する 見えない暗がり メディア 多方面 大事だと思う側面 推測 不利益
【新出漢字】 益 エキ 不利益 有益 (ヤク)	破 ハ 大破 読破 やぶる かべを破る やぶれる 服が破れる
漢字の広場⑤ (書①) 4年生までの漢字	◎4年生までに配当されている漢字

殺風景 街灯 清流 目的地 浅い 牧場 囲い 両側 野菜畑 松 バス停 建物 低い 倉庫 印刷所 博物館 陸上競技場 改札
 徒歩 左折 百貨店

読み聞かせ

◎読み聞かせを聞きながら、場面の様子を想像する。

すいせんします (話・聞⑥)
 すいせん 理由を明確に
 書き言葉と話し言葉
 コミュニケーションの手段

◎理由を明確にしてすいせんする。
 ★ 書き言葉と話し言葉
 コミュニケーションの手段[しゅだん](ロールプレイ)

- 【S1】 教材文を読む。
- 【S2】 目的や条件を確認し、推薦するものを決める。
- 【S3】 推薦の理由づけとして必要な事実を考えたり、取材したりする。
- 【S4】 推薦する理由をはっきりさせて整理する。

- 1 求められていることを確かめ、すいせんするものを決めよう。
 「すいせん」とは、求められていることに対して、自分かよいと思う事物や人物を他の人にすすめることです。
- 2 すいせんする理由をはっきりさせて、整理しよう。
 あなたがよいと思った理由をカードに整理しましょう。
- 3 スピーチの内容や構成を考えよう。
 スピーチの内容や話す順序を考え、スピーチメモを作りましょう。聞き手が納得できるように、カードを見ながら内容を構成します。
- 4 スピーチをしよう。
 声の強弱や話す速さ、間の取り方などに気をつけ、構成にそって、スピーチをしましょう。また、資料の見せ方にも気をつけましよう。
- 5 気づいたことを伝え合おう。
 - ・目的や条件に合うすいせんになっていたか。
 - ・意見や理由がはっきり伝わる構成だったか。
 - ・体験や調べたことなどによって、すいせん理由が納得できるものになっていたか。
 - ・声の強弱や話す速さ、間の取り方など、話し方は適切だったか。

【新出漢字】

条 ジョウ 条件 三か条
 件 ケン 条件 用件

価 カ 評価 価格 (あたい)
 招 ショウ 招待 招集 まねく 手招き

文の組み立て 並立の関係 補助の関係 独立語
 意味から見た文の種類 (命令・たずねる・感動を表す)

日本語(国語)【小5】2月 指導カリキュラム (日本語テキスト・指導内容・指導単元)

日本語(国語) 小5 2月 ユニット・指導内容・ステップ

【ユニット モジュール配分比率】 ステップ：現学年 **【S1】 42：10** **【S2】 25：11** **【S3】 12：12** **【S4】 3：13**

ユニット[観点]・日本語テキスト	指導内容
複合語 (伝国②) 複合語 三字、四字じゅく語	<p>★ 複合語のでき方と組み合わせ方</p> <p>【S1】 教材文を読む。 【S2】 複合語のでき方と組み合わせ方を理解する。 【S3】 複合語の組み合わせ方の種類について整理する。 【S4】 長い複合語、発音が変わる複合語を声に出して読む。</p>
<p>複合語の種類</p> <p>(1) 和語と和語との組み合わせ 正夢 綿毛 魚市場 たまご形 舌つづみ 昼休み 墓参り 早起き 枝分かれ 高とび 細長い 話し合う 取り計らう 歩み寄る</p> <p>(2) 漢語と漢語との組み合わせ 消費税 国境線 輸入品 団体戦 農耕地帯 損害保険 管理事務所</p> <p>(3) 外来語と外来語との組み合わせ ビデオカメラ オレンジジュース ゲームコーナー サービスセンター</p> <p>(4) 和語と漢語との組み合わせ 恩返し 雪合戦 年賀はがき</p> <p>(5) 和語と外来語との組み合わせ 紙コップ スープ皿 ボール投げ</p> <p>(6) 漢語と外来語との組み合わせ ピアノ教室 電子メール</p> <p>【新出漢字】</p> <p>綿 メン 綿花 綿糸 わた 綿毛 綿あめ 舌 (ゼツ) した 舌つづみ 墓 ボ 墓地 墓前 はか 墓参り 税 ゼイ 消費税 税金 輸 ユ 輸入品 輸送 団 ダン 団体戦 団結 (トン) 耕 コウ 農耕 耕作 たがやす 土地を耕す</p>	<p>複合語の特徴</p> <p>(1) いくつもの言葉を結び付けて、一つの長い複合語を作ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画完成記念特別試写会 ・冬季レクリエーション大会実行委員 <p>(2) 長い複合語や、よく使われる複合語は、結び付いている言葉の最初の文字を取るなどし、それをつないだ形で用いられることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際連合→国連 ・パーソナルコンピュータ→パソコン <p>(3) 複合語になるとき、元の言葉と発音が変わることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こめ十たわら→こめだわら (米俵) ・ほとけ十こころ→ほとけごころ (仏心) ・ふね十たび→ふなたび (船旅) ・しろ十なみ→しらなみ (白波) <p>(4) 複合語になるときに、元の言葉と音の高さが変わることがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼十休み→昼休み <p>損 ソン 損害 破損 (そこなう) (そこねる) 務 ム 事務所 義務 つとめる 司会を務める つとまる 司会が務まる 恩 オン 恩返し 恩人 賀 ガ 年賀はがき 仏 ブツ 念仏 仏像 ほとけ 仏心</p>

<p>冬の朝 (書②) 古文 冬らしいものや様子</p>	<p>● 冬の季節感 【S1】 冬のどんなどころが好きかについて発表する。 【S2】 「枕草子」を音読し、「冬」の季節感を味わう。 【S3/S4】 「枕草子」や教科書に出てくる冬を表す言葉をまとめる。</p>
<p>冬はつとめて。雪の降りたるは言よべきにもあらず、霜のいと白きも、またさらでもいと寒きに、火などいそぎおこして、炭もてわたるもいとつきづきし。昼になりて、ぬるくゆるびもていけば、火桶の火も白き灰がちになりてわろし。 『木枯らし』 冬の初めに木の葉をふき散らす、冷たい風のこと。 北風 からっ風 寒波 『風花』 風に乗って飛んできて、ちらちらとまい落ちる雪のこと。 初雪 粉雪 雪模様 雪化粧 『氷柱』 水のしたたりがこおって、長くたれ下がったもの。北国ののき先や木の枝などに見られる。 氷張る 氷点下 霜柱</p>	
<p>わらぐつの中の神様 (読⑥、話・聞①) 物語 慣用的な表現 方言と共通語</p>	<p>◎登場人物の相互関係や心情、場面についての描写 ○共通語と方言との違い コラムで方言と共通語の特徴を押さえる。 【S1】 教材文を読む。 【S2/S3】 登場人物の人柄やものの見方・考え方 【S4】 物語の構成 使われている言葉や表現</p>
<p>【語彙・表現】 雪がしんしんとふっています　こたつに当たりながら　辺りはとても静か　風が出てきたらしく　まどのしょうじがカタカタと鳴りました。　雪がサラサラと　お母さんが、水音を立てながら答えました。(台所)　あらかたかわいたと思う　しきい　しっかりくるむ　びしょびしょ　茶の間のこたつ　わらぐつ　金具　たんす　つうんとこおりそう　迷信　混もうと　混むまいと　雪の音にちょっと耳をすましてから　気立てがやさしくて　ほがらかにくるくと働いていた　なんだか気ぜわしように前かがみになって　オレンジ色のはなお　くすんだ赤い色のつま皮　黒いふっさりとした毛皮　はなやかな冬のよそおい　あかぎれの指　すい付けられたようにその雪げたをながめていました　おかみさん　真っ赤になって、口の中で何かもごもご言いながら、にげるように店の前をはなれました。　物ねだり　買ってやりたいのはやまやま　言葉をにごして　なだめ役　たやすく　がんぎ　むしろ　あけすけなこと　不細工　おずおずと　おがみたいような気　しょっちゅうきょうしゆく　こっくりこっくりうなずきながら　白いほおが夕焼けのように赤くなりました。　目をくりくりさせて　パチンと手をたたいて、目をかがやかせました。　おし入れ　つうんとかびくさいにおい　げんかんのたたき　カッカッと</p> <p>【新出漢字】 慣　カン　習慣　慣例　なれる　慣れた手つき　ならず　体を慣らす</p>	
<p>反対語・同意語</p>	

言葉のたから箱

どんな人物かを表す言葉

たくましい
まさる
一、二を争う
努力家
力量がある

才能がある
いさぎよい
すがすがしい
品がいい
評価が高い

堂々とした
おおらか
おっとり
ぎこちない

心配しよう
がんこ
向こう見ず
しんちょう

どんな物や事がらかを表す言葉

あざやか
はなやか
みずみずしい
できばえのよい
名作

名高い
評判がいい
すぐれた
重要
意義深い

しっくり
正確
明らか
とてつもない
型破り

不自然
重々しい
すさまじい
余計

感情を表す言葉

ほほえましい
ほれぼれする
ときめく
共感
熱を上げる
こみ上げる
むねにせまる
むねにひびく
むねがすく
気が晴れる
快い

声はずむ
むねが高なる
引かれる
顔を赤らめる
張りつめる
思い出深い
きおくに残る
印象深い
気に留める
安らぐ
気を静める

気が軽くなる
満ち足りる
心強い
息をのむ
うろたえる
あたふたする
まごつく
いら立つ
しんみり
気が重くなる
もの悲しい

あわれ
息苦しい
むねがいたむ
いたいたしい
めんどろ
うんざり
とまどう
目がくらむ
不気味
いまいましい
しらける

学習に用いる言葉

『話す・聞く・書く学習で用いる言葉』

【提案】話し合いに、自分の考えや議案を出すこと。文書にまとめたものを、提案書という。【104ページ】

【協議】話題にそって考えや意見などを出し合い、一つにまとめること。【106ページ】

【すいせん】求められていることに対して、自分がよいと思うものや人物を他の人にすすめること。【191ページ】

『読む学習で用いる言葉』

【心情】人物が感じたり考えたりしていること。【20ページ】

【構成】説明する文章では文や段落、物語では場面が、どういう関係で結び付いて、文章または物語を作っているかということ。【44・222ページ】

【要旨】筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事から。あるいは、それについての筆者の考えの中心となる事から。【44ページ】

【古典】長い年月を経て、今日まで読みつがれてきた作品。【56ページ】

【情景】人物の心情とひびき合うようにえがかれた風景や様子。【133ページ】

『言葉の学習で学んだ言葉』

【敬語】聞き手や話題になっている人に対して敬意を表す表現。ていねい語、尊敬語、けんじょう語に分かれる。【68ページ】

【和語】もともと日本にあった言葉。漢字で書いてあっても、「訓」で読む場合は和語。【102ページ】

【漢語】漢字を「音」で読んだ言葉。中国から入った言葉が多いが、日本で作ったものもある。【102ページ】

【外来語】近代になって、アメリカやヨーロッパなどから入ってきた言葉。ふつう、片仮名で書く。【103ページ】

【特別な読み方をする言葉】二字以上の漢字が結び付いてできた言葉で、全体をひとまとめにした読み方をするもの【113ページ】

【複合語】二つ以上の言葉が結び付いて、新たな一つ言葉になったもの。【195ページ】

【方言と共通語】ふだん、家族や友達と話すときに使うような、その地方独特の言葉づかいを方言といい、どの地方の人でも分かる言葉づかいを共通語という。【223ページ】

特別な読み方をする言葉

あす	明日	ことし	今年	ともだち	友達	へた	下手
おとな	大人	しみず	清水	にいさん	兄さん	へや	部屋
かあさん	母さん	じょうず	上手	ねえさん	姉さん	まいご	迷子
かわら	河原・川原	たなばた	七夕	はかせ	博士	まじめ	真面目
きのう	昨日	ついたち	一日	はつか	二十日	まっか	真っ赤
きょう	今日	てつだう	手伝う	ひとり	一人	まっさお	真っ青
くだもの	果物	とうさん	父さん	ふたり	二人	めがね	眼鏡
けさ	今朝	とけい	時計	ふつか	二日	やおや	八百屋
けしき	景色						

いつも気をつけよう

『話す・聞く』

話すとき

- 話したいことを明確にし、事実と自分の考えを区別して話す。
- 声の大きさや強弱、間の取り方などを工夫し、大事なことが伝わるように話す。

聞くとき

- 話の中心に気をつけて聞く。
- 聞きながらメモを取るときは、短い言葉で書く、記号を使うなど工夫する。

話し合うとき

- 司会者・提案者・参加者の役割を理解し、議題にそって話し合いが進むよう、たがいに協力する。

『書く』

書くとき

- 相手と目的を明確にし、書こうとする内容に合わせて取材する。
- 文章の組み立てを考える。
- 説明する文章を書くときは、内容のまとまりごとに段落を分けたり、必要に応じて例を挙げたりして書く。
- 必要に応じて、写真や図表を組み合わせて書く。
- 考えを伝える文章を書くときは、初めと終わりに考えの中心を書くなどする。
- 書いたものは読み返して、まちがいを正したり、分かりやすくしたりする。

物語を読むとき

- 場面や登場人物の様子を思いうかべながら音読する。
- 場面の移り変わりに気をつけて読み、
- 登場人物の人がらや気持ちを想像する。
- 物語の中の特別な言葉に着目して読む。
- 書かれていることを、自分の体験と比べながら読む。
- 感じたことや考えたことを伝え合い、物語の読みを深めたり広げたりする。

説明している文章を読むとき

- 段落どうしの関係を考える。
- 段落の中心になる言葉や文をとらえる。
- 事実や説明と筆者の考えの関係を考えながら読む。
- 文章の細かなところに注意して読む。

続けてみよう

日々のことを記録しよう

何かに出会って考えたり、何かに取り組んだりしたら、記録をつけましょう。

読んだ本

- ・書名
- ・作者名・筆者名
- ・感想や、心に残った言葉

心を引かれたもの

- ・場所
- ・見つけたもの
- ・思ったこと、考えたこと

係やクラブなどの活動

- ・その日の活動内容
- ・思ったこと、考えたこと
- ・次への課題

今日の出来事

- ・印象に残った出来事
- ・思ったこと、考えたこと

「たいせつ」のまとめ

『話す・聞く』

「きくこと」で理解し合うには【67ページ】

〈たずねるとき〉

- ・いちばんききたいことをはっきりさせて、話の流れにそって質問する。
- ・相手の意図をとらえて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりする。
- ・必要に応じ、事前に下調べをしておく。

〈質問に答えるとき〉

- ・きき手がその質問をすることで、何を知りたいのかを考えて話す。
- ・質問の意図が分からなければ、たずね返したり、確認したりする。

〈話の記録をまとめるとき〉

- ・やり取りを正確に聞いて、要点をメモに取る。

計画的に話し合う【107ページ】

- ・話し合いの目的を確かめる。
- ・目的を意識しながら、話題にそって話し合う。
- ・自分の立場を明確にして話す。
- ・決められた時間内に発言するなど、各自が進行に協力する。

説得力のあるスピーチをする【194ページ】

説得力のあるスピーチをするために、次のことに気をつけて、内容や構成を工夫するとよい。

- ・意見とその理由をはっきりと伝える。
- ・自分の体験や調べた事実など、具体的な理由を入れて説明する。
- ・目的や条件など、聞き手が求めていることを考えて話を構成する。

活動報告書を書く【93ページ】

- ・活動報告書は、読み手に活動の内容やそれに対する考えが正確に伝わるように、事実と考えを区別して書く。
- ・自分たちの活動や考えが分かりやすく伝わるように、小見出しを立てたり、段落を分けたりする。

表現を工夫する【101ページ】

- ・どうすると感動が伝わるかを考え、言葉を選ぶ。
- ・言葉の順序を工夫する、たとえを使う、漢字、平仮名、片仮名のどれを使って書き表すかなど表記のしかたを考える。

提案書を書く【109ページ】

- ・現状や問題点を整理し、提案の理由を明確にして書く。
- ・提案の内容は、なるべく具体的なものにする。
- ・提案したことが実現するとどんな効果があるのかをしめす。

グラフや表を用いて書く【153ページ】

- ・目的に合った資料（グラフや表、図、写真）を選ぶ。
- ・資料と文章を対応させて書く。
- ・資料から分かることと、自分が考えたことを分けて書く。

表現を工夫して物語を書く【228ページ】

- ・読み手に物語の設定が分かるように書く。
- ・読み手が、情景を想像できるう、登場人物の行動や会話、場面の様子についてくわしく書く。
- ・たとえを使ったり、様子を表す言葉を工夫したりする。

『読む』

物語・読書

登場人物どうしの関わりを読む【32ページ】

- ・登場人物どうしの関わりは、何かの出来事をきっかけにして変化していく。
- ・人物どうしの関係とその変化から、それぞれの人物像や、心情のうつり変わりをとらえることができる。 など

本をすすめるときは【83ページ】

- ・人に本をすすめるときには、そのみりよくが伝わるように、方法や表現などを工夫する。 など

すぐれた表現に着目する【134ページ】

- ・物語では、人物の言葉や行動、そのときの人物の様子、場所の様子などが、目に見え、耳に聞こえるように生き生きとえがかれる。それらの表現に着目して、内容をとらえることが大切である。
- ・場面の様子や風景をえがいた表現からも、人物の心情や性格を想像することができる。このような、情景をえがいた表現に着目することで、物語の読みが深まっていく。

伝記を読む【169ページ】

- ・伝記を読むときは、自分の生き方に取り入れたいことを考えながら読むとよい。自分の生き方と関わらせて読むと、自分の考えを広げたり深めたりすることへつながっていく。

作品の特色をとらえる【222ページ】

- ・構成一どのような場面が、どのような関係でえがかれているか。
- ・人物像一どのようなものの見方・考え方の人物がえがかれているか。（会話・行動や心情）
- ・表現一場面の様子や人物を、どのような言葉で表現しているか。

説明している文章

新聞を読む【41ページ】

- ・新聞は、さまざまな種類の記事が編集されて、紙面が構成されている。
- ・記事は、見出しやリード文、本文、写真、図表などを効果的に組み合わせて書かれている。

- ・目的におうじて、記事を選んだり比べたりするなど、いろいろな読み方ができる。

要旨をとらえる【54ページ】

筆者が文章で取り上げている内容の中心となる事がら、あるいは、それについての筆者の考えの中心となる事がらを要旨という。

- ・筆者の考えは、文章の始まりやまどめに直接的に書いてあることが多い。
- ・どのような事例や理由を述べているか、どのように考えを進めているかに、筆者のものの見方や考え方が表れることが多い。

文章以外の資料を効果的に用いる【148ページ】

- ・科学読み物では、図表やグラフ、絵、写真などが説明に用いられることがある。
- ・図表やグラフ、絵、写真などを用いることによって、筆者は、伝えたいことを説得力をもって伝えようとしている。

自分の考えを明確にする【186ページ】

筆者の考えを正確にとらえ、そこから自分の考えを明確にするには、次のことに気をつけて読むとよい。

- ・自分の知識や経験と重ねながら読む。
- ・筆者の考えと事例がどのように結び付いているかを整理しながら読む。
- ・筆者の考えに共感したり疑問に感じたりしたところがあったら、その理由を考える。